

「市民学校」が開講

初日には80人が聴講

「第六回市民学校」が五月八日、大篠公民館で始まりました。年々参加者が増え、初日には約八十人の皆さんが聴講。

開講に当たって、島内日出見教

育次長が「公民館活動の一環として行っていますが、皆さんの生活の向上に役立てていただきたいと思えます。今日から七回にわたって開かれますが、皆勤でがんばってください」とあいさつ。

初日は、公益社団法人考える村理事長の入交好保氏が「私が歩んだ道―龍馬に魅せられて」と題して、多くの高知県人の偉人の中で、

なぜ「龍馬」なのかについて講演。会場を埋めた人々は興味深げに聞き入っていました。

市民学校は、以後次の日程で五月二十九日まで開かれます。申し込みを忘れていた方など聴講を希望する方は、会場に少し余裕がある公民館へ来てください。

今年で六回目の市民学校。初日には八十人が熱心に聴講した



日 程 表

日	時間	演 題	講 師
5月19日(月)	13:30 ↓ 15:30	同和問題の今日的課題と展望	高々池中学校長 藤中 正雄氏
22日(木)	"	民法とその歴史相統はどう変わってきたか	元県立高知短期大学教授 外崎 光広氏
26日(月)	"	バイオテクノロジー農業はどうなるのか	高知大学農学部教授 林 喜三郎氏
29日(木)	"	健やかに21世紀へ	高知医科大学長 依 寿太郎氏

場所……大篠公民館（市民体育館の西隣）

組織を強化し 社会参加を進めよう

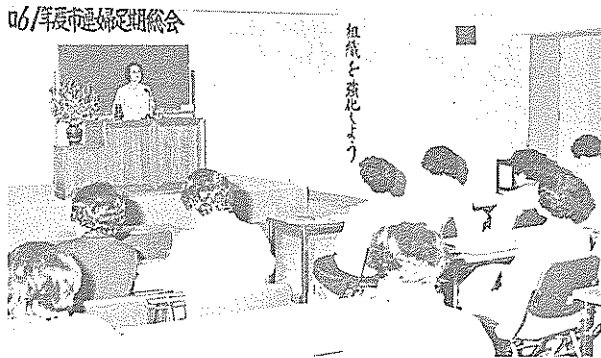
○市連合婦人会総会○

業計画などを承認しました。本年度の目標は、①婦人の社会参加を進めよう②組織の強化を図ろう③学習体制の強化を図ろう④少年の健全育成、交通安全の推進、健康づくりの推進、同和学習の推進の三項目で、特に組織の強化を重点に置いて活動を進めていくことを決めました。

午後からは、「80年代私たちがどう生きるか」と題して、元婦人少年室長で清和学園講師の今井清子氏が講演。集まった婦人会の皆さんは今後の活動に生かそうと、熱心に話を聞いていました。

南国市連合婦人会（西森律会長）の総会が四月二十三日、市役所で開かれ、六十一年度の活動方針などを決めました。

総会には各地区の代表約六十人が出席。まず、西森会長が「市内十六地区のうち三地区が連合婦人会に未加入ですが、いっしょに活動できればすばらしいことだと思えます。また、交通安全とか健康づくりは、いずれも私たち婦人の手、母親の力がその原動力にならなければなりません」とあいさつ。続いて六十年度取支決算報告、六十一年度事



午後からは、今井清子氏の講演も行われた